

令和5年度第2回岩手県地域公共交通活性化協議会 議事要旨

1 日時

令和5年9月29日（金）13：30～14：45

2 場所

盛岡市（建設研修センター 3階 大ホール）

3 主な議事内容

- (1) 岩手県地域公共交通網形成計画の令和4年度施策評価について
- (2) 次期地域公共交通計画の骨子案について
- (3) 今後の進め方について
- (4) その他

4 主なご意見等

(1) 岩手県地域公共交通網形成計画の令和4年度施策評価について【資料1】

発言者	発言内容
委員	<ul style="list-style-type: none">・ 道路環境や人口、学校の統合など、社会環境が変わる中で、ビッグデータを活用した調査もしているとのことなので、交通ネットワークの維持を前提とするのではなく、どうすれば県民の移動が確保できるかという観点から、どの地域にどういう移動が必要なのか、県全域の計画として、各自治体と意見交換をしながら検討いただきたい。・ 当社としても、鉄道路線の廃止ではなく、そのエリアに適した交通体系にしていきたいと考えている。今の鉄道が地域の役に立っているのかという観点から議論をしたいため、維持を前提とするのではなく、県民にとっていかに便利な交通体系を構築するかということが最重要である。バス会社も乗務員の確保が難しい状況となっているため、どの地域にどういう路線を運行するのかという点が最大の課題であると認識していただきたい。
事務局	<p>⇒ 令和4年度第1回の法定協議会でもお話をさせていただいたが、バス事業者が国庫補助の交付を受けるためには、地域公共交通計画への路線位置づけが必要となることから、令和5年度中に計画を策定し、対象路線を位置付ける必要がある。時間的な制約もあるため、現在の交通体系を前提とした</p>

発言者	発言内容
事務局	<p>バスを中心とした議論を行いたい旨を御説明し、了解いただいたところ。</p> <p>当該協議会の場合では、鉄道路線に関しては、現行の交通体系を維持することを前提に議論を進めていくことを想定している。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通は、人手不足の深刻化、長期的な人口減少に加え、コロナ禍により厳しい状況にあると認識している。今後の公共交通を維持していくに当たり、単に路線を維持していただくだけではなく、将来的なまちづくりの方針などとも整合を図りながら、必要に応じて路線の見直しの議論をしていくことが必要と考えている。岩手県ではビッグデータの活用も掲げていることから、こうした実態把握も踏まえ、将来的な方向性を踏まえて議論を行っていくことが必要だと考えている。 ・ 地域公共交通計画に基づき、路線の再編やダイヤ見直しなど、利便性の向上に資するような具体の取組について、協議会の場で議論いただいた上で個別の計画を策定する利便増進実施計画という制度がある。利便増進実施計画を策定した場合の国の支援制度として、幹線系統やフィーダー系統の補助の特例措置などもある。必ずしも今回の地域公共交通計画の策定と同時に路線の再編まで行うということではないと考えているが、県全体の計画の議論ができるのは貴重な機会なので、そうしたことも視野に入れて、引き続き検討いただければと考えている。 ・ 運行維持のための欠損額の補助をどういった役割分担でやっていくのか、各県によって仕組みが様々なので、他県比較をしていくことも重要。国としても、助言できる部分は助言していきたい。 ・ 地域交通法の改正が10月1日に施行される。法改正の趣旨として、バス事業者単独の取組ではなく、地域の関係者が連携・協働していくことが重要であるという考え方のもと、地域公共交通計画にも連携・協働に関する事項を盛り込む必要があるとされているところ。国としても「地域交通共創モデル実証プロジェクト」として、地域の連携・協働を支援する取組を展開しているので、活用を検討いただきたい。 <p>また、今年度から、社会資本整備総合交付金によるハード整備の支援を行っており、バス事業でも停留所の整備等に活用が可能となっている。来年度以降も支援制度を継続していくの</p>

発言者	発言内容
事務局	<p>で、活用を念頭に置きながら、引き続き検討いただければと思う。</p> <p>⇒ 人手不足について、大きな課題だと認識しており、市町村と運転士不足への対応について検討しているところ。ビッグデータについては、素案の作成に向けて、分析結果の活用を進めていきたい。利便増進実施計画などの制度や財源の活用も含めて、相談しながら議論していければと考えている。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料1の4P①「今後の方向」に医療ビッグデータによる分析という旨の記載があるが、どのようなものか。 また、同箇所「事業者が行う待遇改善や採用活動、業界のイメージアップ等に対する支援を検討」とあるが、検討に留まらず、実際に取り組んでいただきたい。
事務局	<p>⇒ 匿名化したレセプトデータに基づき、どの市町村にお住まいの方が、どこの医療機関に通院されているかという情報を把握することを予定しているもの。個人の特定に繋がる情報が含まれないデータであるが、適正にデータを取り扱いながら、分析を進めていく。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 課題が大きく、新たな制度・助成等も出来ていることから、対象範囲を定めて、時間的な制約も意識しながら、先を見据えて段階的に検討していくことも必要ではないか。

(2) 次期地域公共交通計画の骨子案について【資料2-1、2-2、参考資料1、2】

発言者	発言内容
委員	<ul style="list-style-type: none"> 県立高校は計画期間の5年間で、久慈地区、二戸・一戸地区、県南地区の工業高校、盛岡地区において統廃合が検討されている。この状況を踏まえて、具体的に統廃合後の足の確保を検討いただきたい。特に県北地区では公共交通が乏しいことから、維持だけでなく、路線やダイヤをどうするのかといったことも踏まえて検討いただきたい。 また、例えば宮古地区では現在、キャンパス制を実施しているが、施設間の移動手段をどうするかなど、地域ごとの課題があると考えられる。高校生の子供を持つ保護者の観点から、保護者の経済的負担に関する支援を盛り込んでほしいというこ

発言者	発言内容
事務局	<p>とと、高校が統合したことに伴って、公共交通の利便性の確保を検討いただきたい。</p> <p>⇒ いただいた御意見について、教育委員会事務局とも意見交換しながら、検討していきたい。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料 2-1 の基本方針②の「人口減少」とは、今後人口が減少していくことを踏まえて対策を検討していくという趣旨か、人口減少に歯止めをかけるための公共交通であるべきという趣旨のどちらか。
事務局	<p>⇒ 今後人口減少が見込まれる中で、公共交通をどう維持していくかという観点で記載したもの。</p>
委員	<p>⇒ 子育てしやすい環境や高齢者の足の確保を考えれば、公共交通そのものが人口の流出や少子高齢化に歯止めをかけられるのではないかと考えているので、そうした観点で施策を検討いただきたい。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料 2-1 の基本方針②に、持続的で利便性の高い地域公共交通ネットワークの形成と記載されているが、施策の展開の方向性に反映されていないのではないかと考えている。対症的ではなくて、先を見据えた計画として、基本方針②を実行に移していくような記載をお願いしたい。
事務局	<p>⇒ いただいた御意見を参考に、素案作成を進めていく。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 時代のトレンドが変化してきており、人口が増加していた頃に需要を包み込もうとして構築してきたインフラや交通のシステムが大きな変革を問われている。長いスパンで対応することと、急いで対応が必要なことが複層的に存在している。計画をどこまでを対象範囲として策定していくかを検討する必要がある。整理は難しいが大切なことなので、委員の皆様の知恵を借りながら、先に繋がる交通ネットワークを構築していく必要がある。